

<p>【キャッチフレーズ】</p>  <p>笑顔・花・命</p>	<p>奄美市立大川小・中学校</p> <p>学校だより大川</p>	<p>【校訓】</p> <p>勉学・協力・根性</p>  <p>平成 30 年 12 月 21 日 発行</p>
---	-----------------------------------	---



## 「スマートフォン・SNS を考える ～親の役割～」

校長 前田 浩之

私には3人の娘がいます。長女と二女には高校卒業まで携帯電話もスマートフォンも与えませんでした。寮生活であったから、必要はなかったのです。しかし、携帯・スマホにあこがれる年齢です。高校入学時には二人とも泣いて訴えて来ました。しかし私は突っぱねました。「学生である間は、余計なものは持つな。」それが私の方針だったからです。今、母親になった二人は、その時の私の判断を正しかったと言います。それで崩れていった寮の友人を見てきたからだそうです。

三女には、高校3年の時にやむなく買い与えました。仕事の都合で転校させ、車で片道20分ほどの通学を余儀なくされたからです。公衆電話の少ない時代、送迎の際に連絡をとる手段として必要だったのです。しかし、すぐに生活のリズムがおかしくなりました。部屋にこもりスマートフォンばかりをいじっています。親子で決めた8時までの制限を守れず、何度も叱りました。1ヶ月ほど使用禁止にしたこともあります。買い与えたのは親である私であり、正しい使い方をさせるのも親の責任です。子どもの欲求に簡単に負けるわけにはいきません。その時は恨まれても、子どもを守るために必要なことなのです。

ある高校の校長先生がこう言われました。「スマートフォンやLINEは子どもにとって史上最悪の武器である！」その高校では、生徒指導問題のほとんどにスマートフォンやソーシャルネットワークサービス(SNS)の一つであるLINEが絡んでいると言うのです。遊びたい盛りの子もたちが、親の知らないところで連絡を取り合うことの出来るツール(道具)。それがスマートフォンやSNSなのです。

【携帯・スマホ依存症】という言葉も生まれてきています。常にSNSで友人と繋がっている子どもたちは、携帯やスマートフォンを手放せません。「悪口を書き込まれていないか?」「メールが来たらすぐ返信しないと友情にひびが入る。」心配で頻繁にスマートフォンをのぞき込みます。無意味なやりとりの末、睡眠不足になり体調を崩す。ただ一言、LINEに友人と違う意見を書き込んだことで、仲間はずれにされてしまう。それが自殺に繋がった例も現実には起こっているのです。

社会問題にもなっているのが、無軌道な画像の投稿です。コンビニのケースに入っている画像を投稿したり、服を脱いだ画像やパトカーの上に乗っている画像を投稿し、逮捕される。若者の判断力の欠如は実に情けないと思います。しかし、スマートフォンを使えば、そのような犯罪行為も簡単に出来るのです。

私もスマートフォンを持っています。便利だから。スマートフォンは通話機能がついたパソコンです。分からないことは検索機能ですぐ調べられ、出張時にはナビ機能が役立ち、英単語は正しい発音付きで、漢字の筆順も動画付きでわかりやすくすぐ出てきます。辞典や辞書を引かなくなりました。今後ますます、私たちの生活に無くてはならないものになっていくでしょう。

このようにスマートフォンには功罪が多くあります。正しく使えば便利、悪用すれば非行の道具。スマートフォンを子どもに与える前に考えて欲しいのです。「お子さんに正しく使える判断力はありますか?」「危険性を理解し、最低限のルールを守らせることができますか?」

どこの学校でもスマホ・SNSに関連した生徒指導問題が発生しています。他人事ではない。現実、今、身近にある問題なのです。

この冬休み、親子でスマートフォンやSNSについて考えてみませんか。



## 11月後半～子どもたちの様子

### 小学部：黒米祭り

黒米と白米でおいしいおにぎりを作りました。



### 中学部：人権教室

野口淑子先生を講師に迎え、楽しく人権について学びました。



### 奄美市英語暗唱・弁論大会に参加

2年生の中川快さん(弁論の部) 岸田結菜さん(英語暗唱の部) 優良賞受賞 堂々の発表でした。



### 小学部：持久走大会

全員完走！自己ベスト続出！



### 中学部：駅伝大会

強い雨の中、心をタスキに込めて繋ぎきりました。



### 12月25日は奄美群島日本復帰記念の日

**復帰前年の小学生の作文**  
 私たちはなさないこと  
 があります。それは日本に  
 帰れないということ。この  
 奄美大島がアメリカに  
 ひきとられたら私たちはど  
 んなにかないことではな  
 ない。私はときどき空をなが  
 めていると、せんに日本の  
 けしきがうかんできます。  
 ※毎日新聞に奄美の小学生  
 の作文が多数掲載され、こ  
 れを読んだ東京の小学生が  
 署名活動を行い、外務省に  
 届けました。昭和二十七年の  
 ことです。

#### 12月後半～1月 主な行事予定

12/25(火)	日本復帰記念の集い(名瀬小学校)
1/3(木)	奄美市成人式
1/8(火)	3学期始業式
1/10(木)	(小) 授業参観・学級PTA スクールカウンセラー来校
1/12(土)	土曜授業(シマ唄・シマグチ学習発表会)
1/16(水)	鹿児島学習定着度調査(小5 中1 中2) ～17日まで
1/19(土)	奄美市PTA連絡協議会理事会 ゆらおう会